

「良いサマリア人」

2015年07月30日

ルカによる福音書 10 章 25 節～37 節。すると、ある律法の専門家が立ち上がり、イエスを試そうとして言った。「先生、何をしたら、永遠の命を受け継ぐことができるでしょうか。」イエスが、「律法には何と書いてあるか。あなたはそれをどう読んでいるか」と言われると、彼は答えた。「『心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい』とあります。」イエスは言われた。「正しい答えだ。それを実行しなさい。そうすれば命が得られる。」しかし、彼は自分を正当化しようとして、「では、わたしの隣人とはだれですか」と言った。イエスはお答えになった。「ある人がエルサレムからエリコへ下って行く途中、追いはぎに襲われた。追いはぎはその人の服をはぎ取り、殴りつけ、半殺しにしたまま立ち去った。ある祭司がたまたまその道を下って来たが、その人を見ると、道の向こう側を通って行った。同じように、レビ人もその場所にやって来たが、その人を見ると、道の向こう側を通って行った。ところが、旅をしていたあるサマリア人は、そばに来ると、その人を見て憐れに思い、近寄って傷に油とぶどう酒を注ぎ、包帯をして、自分のろばに乗せ、宿屋に連れて行って介抱した。そして、翌日になると、デナリオン銀貨二枚を取り出し、宿屋の主人に渡して言った。『この人を介抱してください。費用がもっとかかったら、帰りがけに払います。』さて、あなたはこの三人の中で、だれが追いはぎに襲われた人の隣人になったと思うか。」律法の専門家は言った。「その人を助けた人です。」そこで、イエスは言われた。「行って、あなたも同じようにしなさい。」

主イエスをやり込めようとして、一人の律法学者が「先生、何をしたら、永遠の命を受け継ぐことができるでしょうか」と議論を吹っかけてきた。主イエスが逆に、「律法には何と書いてあるか。あなたはそれをどう読んでいるか」と問うた。彼は「『心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい』とあります」と答えた。主イエスは「正しい答えだ。それを実行しなさい。そうすれば命が得られる」と応じた。彼は自分の義を主張しようとして、「では、わたしの隣人とはだれですか」と議論を続けた。そこで、譬え話をされた。

ある人がエルサレムからエリコへの山道を下っていたが、強盗に襲われて、半殺しにさせられ、道端に放り出された。祭司が道を下って来たが、向こう側を通って立ち去った。レビ人が通りかかったが、同じように無視して立ち去った。次に、ユダヤ人から軽蔑されていたサマリア人が通りかかった。彼は、傷ついた人を見て憐れに思い、最大の介抱をし、宿屋に運び、足りない費用も支払うと約束した。主イエスは律法学者に誰が強盗に襲われた人の隣人になったと思うかと問うた。彼は「その人を助けた人です」と答えた。主イエスは「行って、あなたも同じようにしなさい」と言われた。律法学者は返す言葉を失った。

信仰深いとされていた祭司、祭儀に関わる職種にあったレビ人は傷ついた人を無視して、通り過ぎたが、差別を受けていたサマリア人が心を尽くして、具体的な愛を表した。主イエスは、苦悩を負った人の方が隣人の苦悩を自分の苦悩とすると、自分の義を誇る律法学者に皮肉をもって譬えたのである。これは、皮肉ではなく、世で見られる真実であろう。

この譬えを読んで、自らを省み、皆心が痛むのではないか、私たちはサマリア人にならず、苦しむ隣人の傍を素知らぬ顔で通り過ぎているからである。主イエスの結語、「行って、あなたも同じようにしなさい」を聞いて、恥じ入るばかりである。